

I 学校の概要

1 地域の実態

校区は、下津港に面し、戸数250余りの家々が密集して立ち並んでいる。昭和になり国道や鉄道が開通するまでは、漁業と海上交通の要所として栄えた土地ということで、その名残をとどめているところもある。

現在の海の仕事は「しらす業」が中心となり、漁業を営んでいる家も見られる。しかし海に関する仕事に従事する人は少なく、外部に勤めに出ている人が多い。児童の家庭においてもその傾向である。そのため高齢者だけの家庭も多く見られる。

地域の人々は気さくで、地域ぐるみで子どもたちを見守る雰囲気があり、学校教育にも関心が高く協力的である。年間を通して海開きや運動会など諸行事への参加を楽しみにしてくれている。また、自治会・老人会・伝統芸能保存会など日常的に学校・児童とのかかわりが深く、ゲストティーチャーとして活動してくれる。

P T A活動も活発であり、奉仕作業・海開きや運動会など様々な行事で役員の方々を中心に各会員（11家庭）が積極的に活動している。

このように、学校・家庭・地域の三者が連携・協力して児童の育成を目指している。

2 児童の実態

本校は年々児童数が減少し、現在の児童数は16名である。

児童は明朗・素直で人なつこい。集会や行事では下級生に対して親切に優しく世話をするなど、小規模校ならではの良い面がみられる。また決められたことや自分の得意なことは一所懸命に取り組むことができる。

しかし、自分の不得手なことや困難なことに立ち向かって最後までやり遂げる気力が弱い面も見受けられる。また、少人数で育つためお互いに良く知り合っていて仲が良いが、友人関係が固定化することも見られる。そのため意見を交わしたり討論したりする機会が少なく、馴れあいになってしまうことがある。常に課題として検討しているところである。

3 学級編制

学 年	児 童 数			学 級 担 任
	男	女	計	
1 年	0	2	2	岩 淵 きよ美
2 年	2	3	5	
3 年	2	0	2	宇 恵 孝子
4 年	1	0	1	
5 年	0	2	2	吉 川 弘一
6 年	2	2	4	
計	7	9	16	

4 学校の位置及び沿革

ア. 位置

〒649-0131 和歌山県海南市下津町塩津908番地
 TEL 073-492-2066
 FAX 073-492-5077
 東経 135度9分16秒 北緯 34度7分47秒

イ. 沿革

明治 6年 7月 3日	志保津小学校として創立する。
明治21年 1月	志保津を塩津と改称する。
明治35年 7月	小学校に高等科を設置し、増築する。
昭和16年 4月 1日	塩津国民学校と改称する。
昭和22年 4月 1日	塩津小学校と改称する。
昭和28年 7月 3日	開校80周年記念式典を挙げる。
昭和30年 2月 1日	町村合併により、下津町となる。
昭和31年10月15日	幼稚園を併設する。
昭和34年 3月23日	校歌を制定する。 作詩 井野川 潔 氏 (浦和市) 作曲 清瀬 保二 氏 (東京都)
昭和34年 3月23日	校章を制定する。 考案 秋月 正兵 氏 (和歌山市)
昭和34年 4月 7日	校舎を改築する。
昭和38年 7月 3日	開校90周年記念式典を挙げる。
昭和48年 7月 3日	開校100周年記念式典を挙げる。
昭和55年11月 1日	学校関連道路(大塚農道幹線2号)の起工式を行う。
昭和55年11月 1日	学校関連道路(大塚農道幹線2号)貫通する。
昭和58年 3月	学校関連道路の舗装が完成する。
昭和58年 7月 3日	開校110周年記念式典を挙げる。
昭和59年 7月16日	学校用地6558㎡を買収する。
昭和62年 7月	新校舎建築用地の造成始まる。
平成 元年 7月 4日	新校舎の起工式を行う。
平成 2年 3月25日	現校舎に移転する。
平成 3年 4月25日	新校舎・屋内運動場の竣工式を行う。
平成 3年11月15日	国語科教育研究発表会を行う。(和歌山県教育委員会指定)
平成 5年 7月 3日	開校120周年記念式典を挙げる。
平成 6年 2月10日	自主研究発表会『学ぶ力を育む-国語科学習を中心にして-』を行う。
平成 6年 4月13日	屋外学習環境施設完成する。
平成 6年10月14日	給食研究発表会『一楽しくふれ合いのある学校給食-』を行う。(海草郡指定)
平成 9年11月19日	下津町合同現教『たくましく生きる生活の創造～少人数の特性を生かし、自ら学ぶ力を育てる～』を行う。
平成15年11月15日	開校130周年記念式典を挙げる。
平成16年 4月 1日	幼稚園休園となる。
平成16年12月 1日	下津町合同現教『自ら課題を持ち、豊かに学ぶ子どもの育成～自分や周りに気づき、高め合う学習を通して～』を行う。
平成17年 4月 1日	市町村合併により海南市立塩津小学校となる。
11月31日	2年計画の道徳教育の研究を開始(海草地方指定) 社団法人・食品容器環境美化協会より第6回環境美化教育優良校等表彰を受ける。
平成18年 8月 8日	紀美野町立志賀野小学校の全校児童24名を迎え、全校及び学年別に交流し、その後露の浜にて一緒に水泳を楽しむ。(山海交流)
平成18年11月30日	海草地方道徳教育研究発表会を開催し、海草地方を中心に他地方からも多くの参加者を迎える。 記念講演は、京都教育大学名誉教授の小寺正一先生に「学校教育の基盤としての道徳教育」という演題でご講演をいただく。
平成19・20年度	文部科学省より、下津地区の4小学校合同で「豊かな体験活動推進事業」の指定を受け、3泊4日の宿泊体験を中心とし、自校の独自活動もと入れながら様々な体験活動に取り組む。
平成19年7月13日	紀美野町立志賀野小学校の全校児童11名を迎え、山海交流会を行う。

平成19年8月22日～ 8月25日	5・6年生6名が4校合同宿泊体験学習に参加する。 (堺市日高少年自然の家・セミナーハウス未来塾)
平成19年10月12日	全校児童で紀美野町立志賀野小学校を訪問し、山海交流会を行う。
平成19年10月30日	県音楽教育研究発表会で塩津いな踊り音頭を発表する。
平成20年7月22日～ 7月25日	5・6年生9名が4校合同宿泊体験学習に参加する。 (紀北青少年の家・高野山 光明院)
平成20年7月～8月	夏期休業中、「すくすく水泳」を実施。 夏休休業中、「サマースクール」を実施。
平成21年4月	新教育課程に向けて移行を実施。
平成21年7月27日～	清水町にて1年から4年生がキャンプを行う。
平成21年11月	新型インフルエンザのため学級閉鎖を行う。
平成22年1月31日	県民俗芸能祭で塩津いな踊り音頭を発表する。
平成22年4月～	昨年に引き続き、新教育課程に向け、外国語活動等の研修を行う。
平成22年7月21日～	全校児童が学校でキャンプを行う。(宿泊は4年生以上)

5 教育目標・努力点

1 教育目標



2 めざす児童像

- (1) 自ら課題を見つけ、ねばり強く考える子
- (2) 他を思い、共によりよく生きようとする子
- (3) 命の尊さを知り、考えて行動ができる子

3 重点項目

- (1) 学習活動の充実
 - 授業を工夫することにより、学ぶ楽しさを味わわせるとともに、学び方や学ぶ習慣を身に付けさせる。
 - 算数科を中心に研究を進め、自ら課題を見つけ、解決しようとする力を養う。
 - 読書活動を推進し、国語力を高める。
 - 体育の時間や集会・遊び等を通して、体力づくりに努める。
 - 地域の特性を生かし、魅力ある学習活動を行う。
- (2) 個を生かした集団づくりの充実
 - 児童一人一人が所属感や自己有用感を実感できる集団づくりに努める。
 - 他を思いやる心や、信じ合う心を育てる。
 - リーダーシップと根気強さを育てる。
 - 挨拶と返事をする習慣を身に付けさせる。
 - 自他の生命を尊重する心や、郷土の自然や文化を愛する心の育成に努める。
- (3) 安全教育の充実
 - 児童自ら安全に生活できる力を育成する。
 - 児童の安全確保のため、地域・家庭・関係機関との連携を密にしながら、学校内外の防災・安全対策を講じる。